

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	河崎会看護専門学校
設置者名	医療法人河崎会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程	看護第1学科（3年課程）（新）	夜・通信	305 時間	240 時間	
	看護第1学科（3年課程）（旧）	夜・通信	240 時間	240 時間	
	看護第2学科（2年課程定時制）新	夜・通信	150 時間	135 時間	
	看護第2学科（2年課程定時制）旧	夜・通信	150 時間	135 時間	
（備考）令和4年度より看護第1学科、令和5年度より看護第2学科の教育課程の変更あり					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページにて公表 https://kawasakikai-kango.jp
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 理事（役員）名簿の公表方法

--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	河崎会看護専門学校
設置者名	医療法人河崎会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	学校教職員が行う自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、教育活動等の学校運営の改善に資するため、学校長は、自己評価を本校の実習施設等の関係者により組織された学校関係者評価委員会に報告し、意見を求め、その結果を公表する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
市立貝塚病院看護局長 （平成30年4月1日～）	令和2年5月1日～ 令和6年4月30日 （更新）	学校関係者評価委員 （実習施設関係者）
葛城病院看護部長 （令和3年5月1日～）	令和3年5月1日～ 令和6年4月30日 （更新）	
河崎病院看護部長 （令和4年4月1日～）	令和4年5月1日～ 令和6年4月30日 （更新）	
かわい病院看護師 （平成24年3月1日～）	令和2年5月1日～ 令和6年4月30日 （更新）	学校関係者評価委員 （卒業生）
大阪公立病院医学部附属病院看護師 （令和4年4月1日～）	令和2年5月1日～ 令和6年4月30日 （更新）	
岸和田徳洲会病院看護師 （平成11年4月1日～）	令和2年5月1日～ 令和6年4月30日 （更新）	
（備考）		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	河崎会看護専門学校
設置者名	医療法人河崎会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>アドミッションポリシー、カリキュラムポリシーに基づき、ディプロマポリシーを見据えて3年間の教育課程、進度表を編成。</p> <p>また、教員間の研究授業による授業評価や学生アンケートによる授業評価を踏まえ、各授業終了後、外部講師を含め各担当教員が授業計画書の必要な見直しを行い、翌年度の授業計画書の作成を行っている。</p> <p>作成された授業計画書は副学校長にて点検を行った後、年度初めに学生便覧とともに学生に配布している。</p> <p>また、本校ホームページにも掲載。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本校ホームページにて公表</p> <p>https://kawasakikai-kango.jp</p>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の評価及び単位認定については、学則と履修規程に定めている。 ・ 学習の評価は、試験の成績と実習評価に基づき行っている。 ・ 出席時間数が授業時間数の3分の2に達しない者は、その授業科目について試験を受ける資格がないものとする。但し、実習評価は、5分の4の出席で評価を受ける資格を有する。 ・ 授業科目の評価は100点で満点とし、60点以上を合格とする。 ・ 合格者には当該授業科目について単位認定を行う。 ・ 試験の成績の評価は、優(80点以上)、良(70点以上80点未満)、可(60点以上70点未満)及び不可(60点未満)の4段階とし、優、良又は可の評価を合格としている。 ・ 単位認定は、最終的には判定会議(学校運営会議)にて行う。 	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>○看護第1学科 成績は科目毎に100点満点で点数を算出し、90点以上を「S」、80点以上90点未満を「A」、70点以上80点未満を「B」、60点以上70点未満を「C」、60点未満を「D」として評価する。 これらの成績分布をGPAによる客観的指標として、下記のとおり算出する。 ①学生一人ずつ、全科目の評価を「S」評価4点、「A」評価3点、「B」評価2点、「C」評価1点としてGPに換算する。 ②GPAを算出する基準は、次のとおりとする。 GPA=(授業科目で得たGP×授業科目の単位数)の総和/(授業科目の単位数の総和)</p> <p>○看護第2学科 授業科目の成績評価を100点満点で点数化し、全科目の合計点を算出する。</p> <p>○前期、後期に分けて成績分布を作成し判定会議での参考とする。 全科目の評価が揃う3月中旬には成績分布を作成し進級判定会議での参考とする。 前期判定会議、進級判定会議終了後、個人成績及び成績分布を学生に書面にて配布。 成績は、成績単位担当教員の指示の下教務事務が管理。学生又は保護者から開示を求められた場合は、書面にて配布。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学則及び学生便覧に掲載。又、本校ホームページにて公表 https://kawasakikai-kango.jp</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 卒業の認定は、卒業年の1月末、学校長、副学校長、教務主任等で構成する卒業判定会議（学校運営会議）の議を経て学校長が行う。 • 卒業の認定基準：①学則に定める全ての授業科目について単位認定を受けていること。 ②欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超えないこと。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学則及び学生便覧に掲載。又、本校ホームページにて公表 https://kawasakikai-kango.jp</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	河崎会看護専門学校
設置者名	医療法人河崎会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務所にて冊子「決算書類一式」を備付、 供覧、写しの送付等
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門課程	看護第1学科（新）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時間数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,875時間	1,700 時間	140 時間	1.035 時間	0	0
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人の内数		81人	0人	9人	64人	73人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・教室での講義、実習室での学内演習、病院等の実習施設での臨地実習により構成。 ・年度毎に各授業終了後、担当教員が必要な見直しを行い、3月に翌年度の授業計画の作成を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） ・成績評価は、試験の成績と実習評価に基づき行っている。 ・授業科目の評価は100点で満点とし、60点以上を合格とする。 ・合格者には当該授業科目について単位認定を行う。 ・試験の成績の評価は、優（80点以上）、良（70点以上80点未満）、可（60点以上70点未満）及び不可（60点未満）の4段階とし、優、良又は可の評価を合格としている
卒業・進級の認定基準
（概要） ・2,875時間の全授業科目を修得し、欠席日数が出席すべき日数の1/3を超えない者。

学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員による夏・冬2回の国家試験対策講義の実施。 ・ 国試担当教員による綿密で個々の学生に応じた国試対策。 ・ 個別面談を頻繁に行い、学生のメンタルサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院等の医療関係機関			
(就職指導内容) 実習病院等の人事担当者を学校に招き、就職説明会を開催。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師資格取得			
(備考)（任意記載事項） 新カリキュラムで卒業生がいない			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 保護者との連携に努めている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	看護専門課程	看護第1学科(旧)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	3,045時間	2,010 時間	0 時間	1,035 時間	0	0
	昼		総授業時間数 3,045時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人の内数		40人	0人	9人	64人	73人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室での講義、実習室での学内演習、病院等の実習施設での臨地実習により構成。 ・年度毎に各授業終了後、担当教員が必要な見直しを行い、3月に翌年度の授業計画の作成を行っている。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は、試験の成績と実習評価に基づき行っている。 ・授業科目の評価は100点で満点とし、60点以上を合格とする。 ・合格者には当該授業科目について単位認定を行う。 ・試験の成績の評価は、優（80点以上）、良（70点以上80点未満）、可（60点以上70点未満）及び不可（60点未満）の4段階とし、優、良又は可の評価を合格としている
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3,045時間の全授業科目を修得し、欠席日数が出席すべき日数の1/3を超えない者。
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員による夏・冬2回の国家試験対策講義の実施。 ・国試担当教員による綿密で個々の学生に応じた国試対策。 ・個別面談を頻繁に行い、学生のメンタルサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
46人 (100%)	0人 (0%)	43人 (93.5%)	3人 (6.5%)
<p>（主な就職、業界等）</p> 病院等の医療関係機関			
<p>（就職指導内容）</p> 実習病院等の人事担当者を学校に招き、就職説明会を開催。			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> 看護師資格取得			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
90人	1人	1.1%

(中途退学の主な理由) 進路変更
(中退防止・中退者支援のための取組) 保護者との連携に努めている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門課程	看護第2学科(新)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2,195 時間	1,445 時間	30 時間	720 時間	0	0
	総授業時間数 2,195 時間						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
135 人の内数		43 人	0 人	9 人	60 人	69 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・教室での講義、実習室での学内演習、病院等の実習施設での臨地実習により構成。 ・年度毎に各授業終了後、担当教員が必要な見直しを行い、3月に翌年度の授業計画の作成を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) ・成績評価は、試験の成績と実習評価に基づき行っている。 ・授業科目の評価は100点で満点とし、60点以上を合格とする。 ・合格者には当該授業科目について単位認定を行う。 ・試験の成績の評価は、優(80点以上)、良(70点以上80点未満)、可(60点以上70点未満)及び不可(60点未満)の4段階とし、優、良又は可の評価を合格としている
卒業・進級の認定基準
(概要) ・2,195時間の全授業科目を修得し、欠席日数が出席すべき日数の1/3を超えない者。
学修支援等
(概要) ・教員による夏・冬2回の国家試験対策講義の実施。 ・国試担当教員による綿密で個々の学生に応じた国試対策。 ・個別面談を頻繁に行い、学生のメンタルサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 病院等の医療関係機関			
（就職指導内容） 医療施設等でのインターンシップや見学会への参加を積極的に促している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師資格取得			
（備考）（任意記載事項） 新カリキュラムで卒業生がいない			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 保護者との連携に努めている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	看護専門課程	看護第2学科（旧）	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,205時間	1,455 時間	30 時間	720 時間	0	0
	夜		総授業時間数 2,205時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
135人の内数	81人	0人	9人	60人	69人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・ 教室での講義、実習室での学内演習、病院等の実習施設での臨地実習により構成。 ・ 年度毎に各授業終了後、担当教員が必要な見直しを行い、3月に翌年度の授業計画の作成を行っている。

成績評価の基準・方法 (概要) ・成績評価は、試験の成績と実習評価に基づき行っている。 ・授業科目の評価は100点で満点とし、60点以上を合格とする。 ・合格者には当該授業科目について単位認定を行う。 ・試験の成績の評価は、優(80点以上)、良(70点以上80点未満)、可(60点以上70点未満)及び不可(60点未満)の4段階とし、優、良又は可の評価を合格としている
卒業・進級の認定基準 (概要) ・2,205時間の全授業科目を修得し、欠席日数が出席すべき日数の1/3を超えない者。
学修支援等 (概要) ・教員による夏・冬2回の国家試験対策講義の実施。 ・国試担当教員による綿密で個々の学生に応じた国試対策。 ・個別面談を頻繁に行い、学生のメンタルサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	0人 (0%)	34人 (94.4%)	2人 (5.6%)
(主な就職、業界等) 病院等の医療関係機関			
(就職指導内容) 医療施設等でのインターンシップや見学会への参加を積極的に促している。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師資格取得			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
120人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 保護者との連携に努めている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護第1 学科	400,000 円	390,000 円	108,000 円	
看護第2 学科	400,000 円	340,000 円	88,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校ホームページにて公表 https://kawasakikai-kango.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校教職員が行う自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、教育活動等の学校運営の改善に資するため、学校長は、自己評価を本校の実習施設等の関係者により組織された学校関係者評価委員会に報告し、意見を求め、その結果を公表する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
市立貝塚病院看護局長	令和2年5月1日～ 令和6年4月30日 (任期更新)	実習施設関係者
葛城病院看護部長	令和3年5月1日～ 令和6年4月30日 (任期更新)	
河崎病院看護部長	令和4年5月1日～ 令和6年4月30日 (任期更新)	
かわい病院看護師	令和2年5月1日～ 令和6年4月30日 (任期更新)	卒業生
大阪公立病院医学部附属病院看護師	令和2年5月1日～ 令和6年4月30日 (任期更新)	
岸和田徳洲会病院看護師	令和2年5月1日～ 令和6年4月30日 (任期更新)	
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校ホームページにて公表 https://kawasakikai-kango.jp		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
本校ホームページにて公表 <https://kawasakikai-kango.jp>